

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	令和6年3月29日	
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化						
地域重点政策	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化					松本地域振興局	
実施機関	安曇野建設事務所			担当課	所属	整備課計画調査係	
事業名	県土強靱化・逃げ遅れゼロ啓発事業				電話	0263-72-8308	
					E-mail	azumiken-seibi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	災害による人的被害をなくすため、警戒避難体制の構築や防災知識及び意識の向上により、住民主体の防災意識が高い社会の構築を目指し、県土強靱化・逃げ遅れゼロを目指す。					
	現状と課題	現状 ・砂防事業、堰堤等の防災インフラの存在、役割や効果の理解浸透が不足している。 ・土砂災害や水害時における住民等が抱えるリスク、避難方法の理解浸透が不足している。 課題 ・砂防等の事業実施に対する意識高揚、あらゆる関係者が協働して災害に備え、県土強靱化・逃げ遅れゼロの実現に向けた防災知識や意識の向上が必要。					
	内容 (変更後の内容)	①防災インフラカードの発行、配布 ・砂防等の防災関連事業の整備促進を図るため、砂防や河川等の防災インフラカードを発行、配布することにより情報発信する。 ・知識や意識向上のため、カードの配布を通して、防災教育やイベントの効果向上を図る。 ②防災イベントの実施 ・「楽しく学ぶ」ことをコンセプトに防災に関するイベントを実施する。 (日時)令和5年11月18日 (場所)長野県安曇野庁舎 (ターゲット)親子、家族、防災に興味がある住民等 (実施内容)災害模型実験、防災クイズ、防災インフラカードの配布、建設団体と連携した防災インフラ事業の見学、防災を担う建設産業の役割の発信(建設機械、測量機器の体験等) ○変更点 ・カード発行費の契約による差金を減額する。 ・イベント協働団体が当初想定2団体から5団体への増に伴い、必要となるリース費用を増額とする。					
事業期間	令和5年9月		～	令和6年3月			
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画額	備考		
	防災インフラカード配布	カードの発行、配布		631,400	カード381,400(@21×9種×2,000枚+諸経費) パンフレット250,000(@83.3×3,000部)		
	防災イベントの開催	イベント運営		203,115	テント等リース 203,115		
	合計				834,515		
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	カード配布、受取人数			延べ500人 (初年度)	73人	○ 達成	
	プレミアムカード受取人数			延べ200人 (初年度)	—	○ 一部達成	
	防災イベント来場者数			200人	152人	● 未達成	
事業実績・成果	【実績】 ・防災に資する砂防、河川、道路施設等を防災インフラカードとしてを作成した。カードは一部を防災イベントにおける特典として配布し防災インフラの意義、役割を情報発信した。 ・「楽しく学ぶ」ことをコンセプトに防災に関するイベントを令和5年11月18日に開催し、家族、親子など152名に会場いただいた。 ・イベントでは、産学官連携により、5団体と実行員会組織による主催、民間団体等3者との協力のもと、災害模型実験、防災クイズ、防災を担う建設産業の役割の発信(建設機械、測量機器の体験等)、建設系学科高校の紹介、防災インフラ事業の紹介など、多岐に渡る内容を展開した。体験いただいた来場者から、97%が防災の知識を得られたことから、防災意識、知識の向上が図られたと考える。 ・カード配布は、4月開始としたことから、指標は未達成となるが、継続して配布するため、配布状況及びクイズ・アンケートによる理解度向上を確認していく。 【成果】 ・イベントアンケートの結果から、身の回りのリスクの確認、早めに避難する必要性、砂防堰堤など防災インフラの役割に対して、理解の向上を図ることができた。						
	今後の方向性	・防災インフラや災害の説明に模型の活用が理解を促進していたことから、模型の購入及び防災意識の啓発活動を進める。 ・発行した防災インフラカード及びパンフレットを防災教育の場等において活用し、防災に対する意識向上を図る。					